

～運転士の疲労軽減をサポート～
保護メガネ（偏光レンズ）の本格導入について

四日市あすなろう鉄道では、2026年4月3日（金）から乗務中の運転士を対象に、太陽光や反射光の影響による視認性向上、眼精疲労やストレスの軽減、眼病予防を目的に、保護メガネ（偏光レンズ）の試験着用を実施してきました。

この度、試験着用により一定の効果が確認できたため、2026年5月1日（金）以降、全運転士を対象に保護メガネを本格導入します。

今後も安全な列車運行に努めるとともに、社員の健康保持・増進に向けた施策を積極的かつ継続的に取り組んでまいります。

詳細は以下のとおりです。

1. 導入開始日 2026年5月1日（金）
2. 対象路線 四日市あすなろう鉄道線 全線
3. 対象者 全運転士（16名） ※運輸管理所長が認めた者
4. 導入効果
(1) 偏光レンズを使用することで反射光を除去し視認性が向上
(2) 反射光のカットによる眼精疲労とストレスの軽減
(3) 紫外線カット機能による眼の紫外線被曝の大幅な軽減と眼病予防
5. その他 お客様対応時やホーム歩行時等には保護メガネを外すか、レンズを跳ね上げて使用します。
6. 使用する保護メガネ（偏光レンズ）

メーカー : SWANS/山本光学株式会社（本社／東大阪市）



フリップアップ
（跳ね上げ式タイプ）



クリップオン
（メガネの上に着用するタイプ）

（以上）